



なぎがまCSだより

第 4 号

発行責任者 西村 厚志

「なぎがまコミュニティスクール」ってなに？

学校と地域との関係は、21世紀に入り大きく変化しつつあり、今では、全国の学校が「**地域とともにある学校（コミュニティスクール）**」を目指す取り組みを始めています。

戦後の日本は、すべての国民の教育水準の向上を目指し、全国一律の教育を進め、その結果、日本の経済成長に大きく貢献し、物質的に豊かな社会を実現することができました。

その後、日本社会の課題も変化し、学校教育も「自立・協働・創造」を合言葉に様々な改革が進められています。「コミュニティスクール」の考えもそれらの改革の一つです。

コミュニティスクールは、「**少子高齢化の進む日本の社会を「明るい未来」として子ども達に提供するため、学校・保護者・地域が手を取り合って子育てをしていこう。**」という願いのもと、そのために、地域は学校教育を積極的にボランティア支援（学校支援）し、また、学校も協働することで地域が守ってきた伝統などの地域独自の文化を若い世代に確実につなげて（地域連携）いく活動を進めていて、CS運営委員会は、これらの活動の潤滑油になろうと努めています。



なぎがまコミュニティスクール（CS）運営委員会のメンバー

※ 下中・南小両校長も含めた17名が、町から「学校運営委員」として委嘱され、活動しています。各委員は、全体統括の正副委員長の他、各部を担当しています。

(委員長) 西村厚志 (副委員長) 吉澤邦雄 (下中校長) 登内俊秀 (南小校長) 河西敏夫

学校支援部

(部長) 吉澤邦雄
林 富子 小松信彦
吉澤孝一 常田芳美 太田淳也

地域連携部

(部長) 一村幸正
仁科富士夫 山崎 勲
本山公之 小林慶子

広報部

(部長) 山田明香
河西優子 (小林慶子)
武居晶子

- ・ 町教育委員会等に顧問役をお願いし、また、コーディネーターとして活動に関わる地域の皆様のお力をお借りしています。
- ・ 事務局：各校の他、地域連携に関わって、町公民館主事にも協力いただいています。

学校支援部「読み聞かせボランティア」が今年も始まりました！

今年度もなぎがまCSによる読み聞かせが始まりました。下中では14名の方がなぎがま祭期間を除いて月1から2回、朝の10分間、南小では17名の方が春の読書旬間に合わせて授業時間に各クラス1回入りました。子どもたちは、目をキラキラさせて一心に耳を傾けて聞いてくれ、その快感にやりがいを感じて続けてくださっているボランティアさんもいます。なぎがまCSでは、いつでも読書ボランティアを募集しています。特に、男性の方、ボランティアを何か始めたいと思っている方、とっても楽しい時間ですよ。 なぎがまCS読書支援 河西澄江



ボランティア募集の問い合わせ先

読み聞かせ支援コーディネーター 河西 澄江 ☎ 27-2288(下諏訪北小学校)

地域連携部 地域連携合同会議に 76名の皆さんが出席されました

今年も南小で地域連携合同会議が開かれ、大人と小中学校の子どもたちも交えて話し合う場が設定されました。各区の分館長・副分館長さんや育成会長さん、PTAの地区幹事長さんなど昨年より大勢の皆さんに出席していただきました。地区役員の児童・生徒や学校の先生方を交えて、地区の行事への取組みや、登下校時の危険箇所等について話し合いました。以前から、子どもたちを祭りの司会や屋台スタッフに加えていただいていた地区もあり、また3区のように、各町内の行事が盛んな地区もあります。それらの地区がモデルにもなり、昨年は、なぎがまCS地域連携部の呼びかけにより、新たに地域での子どもたちの出番を準備段階から増やしていただきました。地域の皆さんからは活躍した子どもたちへ温かい応援やお褒めの言葉をいただきました。子どもたちは地域の大人の人に認められて、大きな自信になったと思います。地域連携合同会議へ出席した中学生からは、「昨年関わった先輩から、来年もきっと出番はあるからがんばれよ！！」としっかり引き継ぎがされていたことを聞きました。今年もすでに地域の行事は始まっていて、子どもたちの笑顔が輝いています。



荒汐部屋の力士さんと小中学生の交流会がありました

下諏訪町コミュニティスクール(ノース下諏訪ネットワーク・なぎがまCS)学校支援部合同キャリア教育事業として、荒汐部屋の力士さんたち15名が下中と南小を訪れました。

下中では、「夢を追う若者に学ぶ」キャリア教育の一環として1年生が若い力士さんから話を聞きました。荒汐部屋の一日を追ったビデオを見て、その後、各力士さんの相撲部屋に入った想いや夢に向かって頑張る生声をお聞きしました。礼に始まり、礼に終わる厳しい相撲の世界にふれて、その後の感想や質問の時間では中学生の等身大の様々な質問が出されました。中学卒業後の進路に迷いながらも「夢」を選び相撲界に飛び込んだ力士さんの話が心に残ったようでした。

南小では、各学年に分かれて相撲交流が行われ、その後給食を一緒に食べました。1~4年生が待つ大体育館へ力士さんたちが入って行くと、割れんばかりの大歓声でした。その声に力士さんも思わずにっこり！！すべての子どもたちが大きな力士を相手にいっぱい相撲を取りました。照れながらも大きな体に触ったり、声を掛けてもらったり、楽しく貴重な交流ができました。すもうの盛んな下諏訪町での交流会は来年以降も行われるようで楽しみです。



全員で
はなチーズ!



西村委員長から荒汐部屋の
おかみさんへ御礼を渡しました。

力いっぱい! 元気いっぱい!



蒼国衆も一緒に給食。
大盛りにしたけど、足りるかしら?

夢を持つ事は大事です。



いただきます~す。